

平成28年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 環境政策課

施策番号(大-中-小)	211
まちづくりの基本方向(大項目)	未来につなぐ環境づくり
政策(中項目)	持続可能な循環型社会の形成
施策(小項目)	低炭素社会
基本方針	地域全体で環境負荷の少ない社会を目指すため、環境教育等により市民の環境意識の向上を進めるとともに、行政、市民、民間事業者を通じて環境に配慮した行動や自然エネルギーの導入等に取り組みます。併せて、環境に関する情報発信、環境保全団体の育成、環境保全活動への企業の参加促進など、地球環境保護につながる取り組みを積み重ねていきます。

2. 施策の状況(平成28年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命以降、私たち人類は、化石燃料の大量消費により大気中の二酸化炭素の排出を加速的に増加させてきました。近年、地球規模の気象の変化が観測されており、人類の活動への影響のみならず、生態系や生物多様性への影響が大きな問題となっており、世界的に生物多様性の損失に歯止めがかからない状況です。 地球温暖化を抑制するため、化石燃料に過度に依存しない新たな経済成長を目指す「低炭素型」の社会の構築が、地球規模で早急に取り組むべき課題であり、あらゆる活動で環境に配慮した行動が求められています。 市民・事業者・行政において、地球温暖化その他環境への取組を現状に合わせて一層推進するため、「第2次上尾市環境基本計画(改訂版)」及び「上尾市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定しました。 行政が地球温暖化対策において、市民・事業者に対して率先垂範するため「第2次上尾市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、上尾市が一事業者として取り組むべきことをまとめました。 市内では、自然環境の保全や河川の保全などの環境活動を実施しているさまざまな団体が、美化活動、ごみ減量啓発活動、環境学習会、自然観察会等を行っています。しかし、市民意識調査結果では環境について学ぶ機会、環境活動の機会等の満足度が低く、また、資源回収活動や地域清掃活動を除き、市民・事業者の環境活動への参加率が低い状況です。
法制度の変更など	

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	34,035	16,745	24,609	16,656
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	37,696	37,113	45,333	39,504
合計(千円)	71,731	53,858	69,942	56,160

3. 目標指標の達成状況 冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
★ 環境政策課	温室効果ガス総排出量	県条例報告の計画数値(市+教委)(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	97%	温室効果ガス排出量を基準年から1%ずつ削減。(再計算によりH22~24数値訂正)
				単位	t-CO2	62,412	68,351	56,479	52,792	47,077	59,557		
環境政策課	BDF(バイオディーゼル燃料)使用量	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	21%	西貝塚環境センター農芥車による試験運用は、平成24年度をもって同車両の廃車により終了した。
				単位	ℓ	0	1,655	1,400	—	—	—		
環境政策課	省エネ対策関連補助金額	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	85%	平成26年度見込額は、省エネ対策推進奨励金(1千万円)及び省エネ住宅改修補助金(5百万円)の合計。
				単位	千円	5,999	5,243	9,984	13,483	14,871	14,528		
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									

4. 今後の方針

今後の取組の方向性	目標の達成状況
	達成したもの
	0%
	改善したもの
	100%
改善していないもの	
0%	

前期基本計画最終年のため記載はせず、別途、後期基本計画に合わせた様式によって今後の方針を示すこととします。

※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.12	36	1.07	36	1.05	32

※かい離値は、期待度-満足度を表します。

平成28年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●環境政策課・生活環境課・西貝塚環境センター

施策番号(大-中-小)	212
まちづくりの基本方向(大項目)	未来につなぐ環境づくり
政策(中項目)	持続可能な循環型社会の形成
施策(小項目)	資源循環
基本方針	長期的に持続可能な資源循環型社会の実現を目指し、資源回収、生ごみの自己処理促進、ごみの収集・処理体制の充実など、ごみの発生抑制に取り組みます。市民・事業者の自主的な取り組みを拡大するため、リサイクルシステムを確立し、環境美化活動等の盛り上げを図ります。

2. 施策の状況(平成28年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 今日の経済発展は私たちの日常生活や経済活動などを起因とした大量生産・大量消費が前提であったため、その結果として大量廃棄によるごみ問題が発生しています。 ● 本市におけるごみの排出量について、家庭系のごみは微減傾向です。また、事業系のごみの搬入量は適正な検査の実施により減少傾向です。 ● ごみ減量については、事務区、消費生活展、環境フェスティバル、PTA及び施設見学などで積極的に啓発活動を行っています。市民意識調査結果でも資源回収活動への参加率は高く、取り組みが浸透していることがうかがえます。しかし、ごみの分別の徹底は完全ではなく、継続的な意識啓発が必要です。今後はごみ減量をさらに促進させるために、ごみ袋の有料化等も検討していく必要があります。 ● ごみの再資源化のため、西貝塚環境センターにおける資源物の分別収集や地域リサイクル事業の取り組みが進められています。このことに伴いごみの資源化率は微増傾向です。 ● 廃棄物の適正な処理を進めるため、広域によるごみ処理の検討をしています。また、資源の有効活用を図るため新たなリサイクルの手法について、検討が求められています。 ● 本市が埼玉県及び他県の最終処分場に委託している焼却灰の最終処分量は、ごみ排出量の減少に伴い減少しました。 ● 市民意識調査でも、ごみのポイ捨てや不法投棄など、まちの環境美化への関心の高まりが明らかになっています。今後も市民・事業者の環境意識が高まるような取り組みが必要です。(⇒施策5)へ
法制度の変更など	

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る 当初予算の事業費(千円)	2,159,052	2,170,491	2,201,487	2,426,132
この施策に係る 当初予算の人件費(千円)	370,117	366,707	361,137	370,605
合計(千円)	2,529,169	2,537,198	2,562,624	2,796,737

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
★西貝塚環境センター	ごみ排出量(可燃物)	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	118%	各年3月31日現在
				単位	t	61,727	62,841	62,927	63,626	59,331	52,069		
★西貝塚環境センター	一人1日当たりのごみ排出量	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	117%	世帯数・人口は、各年10月1日現在
				単位	g	819	832	831	839	789	697		
★西貝塚環境センター	ごみの資源化率	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	80%	
				単位	%	15.9	15.6	15.3	15.4	16.3	17.9		
生活環境課	クリーン上尾運動参加人数	(単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	98%	参加人数は傷害保険契約者数の実人数
				単位	人	22,696	20,851	21,195	21,801	21,721	22,461		
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									

4. 今後の方針

今後の取組の方向性	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>前期基本計画最終年のため記載はせず、別途、 後期基本計画に合わせた様式によって今後の方針を示すこととします。</p> </div>	<p>目標の達成状況</p> <table border="1"> <tr> <td>達成したもの</td> <td style="text-align: center;">50%</td> </tr> <tr> <td>改善したもの</td> <td style="text-align: center;">25%</td> </tr> <tr> <td>改善していないもの</td> <td style="text-align: center;">25%</td> </tr> </table>	達成したもの	50%	改善したもの	25%	改善していないもの	25%
達成したもの	50%							
改善したもの	25%							
改善していないもの	25%							

※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.33	6	1.66	2	0.67	3

※かい離値は、期待度-満足度を表します。

平成28年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 環境政策課・生活環境課・建築安全課

施策番号(大-中-小)	213
まちづくりの基本方向(大項目)	未来につなぐ環境づくり
政策(中項目)	持続可能な循環型社会の形成
施策(小項目)	生活環境
基本方針	<p>各種の環境汚染に対しては、法的な防止対策や指導等を行うほか、市民の協力も得て対策を検討していきます。また、様々な生活環境問題として、害虫対策、不法投棄対策、伝染病防止対策、喫煙マナー啓発などを推進し、それらの情報収集・提供に努めながら生活環境を保全・改善していきます。</p>

2. 施策の状況(平成28年3月31日現在の状況を記入)

<p>● 大気環境は、概ね環境基準を達成しています。二酸化硫黄と二酸化窒素は減少傾向にあり、自動車の排出ガスに対する規制強化の効果と推測されます。しかし、光化学オキシダントは環境基準を満たしておらず、特に夏季の数値の上昇は、自動車の排出ガスや工場等から排出される揮発性有機化合物(VOC)などの影響が考えられます。</p> <p>● 道路交通量は、国道16号、17号ともに10年前より増加しており、騒音は国道17号が騒音規制法に基づいた夜間の要請限度(70dB)を超過しています。幹線道路や抜け道にあたる地域では、道路交通が良好な生活環境を阻害する要因となっています。</p> <p>● 空き地や私有林等の荒廃は不法投棄を誘発したり、害虫を発生させるため、所有者は、定期的に除草や枝払いをしたり、フェンスを設置するなどして対策を行う必要があります。</p> <p>● し尿処理は、公共下水道の普及により処理量は減少傾向にありますが、今後もし尿の収集・運搬と処理施設の適正管理運営に努める必要があります。</p> <p>● 人と動物が共生できる地域社会を推進するため、平成22年6月「上尾市人と動物との調和のとれた共生に関する条例」が制定されました。今後も狂犬病予防などの動物感染症対策を施しながら、伝染病のまん延を防いでいく必要があります。</p> <p>● 従来からの典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)に関連する工場や事業所などについては「環境基本法」の制定や公害防止技術の向上及び環境管理の国際規格認証取得の動きにより改善されてきた一方で、未規制公害発生施設等による水質汚濁、悪臭、野焼き、生活騒音など多様な問題が発生しています。</p> <p>● 受動喫煙による健康被害の意識の高まりや、煙草の火による火傷や服の焼け焦げ、火災の誘発、吸殻のポイ捨てなどを防止するため、「上尾市路上喫煙の防止に関する条例」を平成23年3月から施行し、上尾駅及び北上尾駅の東・西口周辺を路上喫煙禁止区域として指定しました。今後も、この条例に基づき、直接・間接的な路上喫煙による被害を無くしていく必要があります。</p> <p>● 地上テレビ放送は、平成23年7月からアナログからデジタルに移行しましたが、残された受信障害世帯の解消が課題です。</p> <p>● 市内の空間放射線量は日常生活に支障のないレベルですが、今後も監視を続け、環境省・文科科学省・厚生労働省などの指針に基づき対応していきます。また、食品の放射性物質に対する市民の不安を解消するため、引き続き測定を行っていきます。</p> <p>● 建築物にアスベストが利用されているかどうかは、材料が分かりにくかったり、見えない場合があり、所有者がアスベストの存在を認識していない場合があります。そのため、特に危険性の高い吹付けアスベストが利用されている可能性のある建築物については、含有調査を行うよう所有者に周知していく必要があります。</p>	<p>● 大気環境は、概ね環境基準を達成しています。二酸化硫黄と二酸化窒素は減少傾向にあり、自動車の排出ガスに対する規制強化の効果と推測されます。しかし、光化学オキシダントは環境基準を満たしておらず、特に夏季の数値の上昇は、自動車の排出ガスや工場等から排出される揮発性有機化合物(VOC)などの影響が考えられます。</p> <p>● 道路交通量は、国道16号、17号ともに10年前より増加しており、騒音は国道17号が騒音規制法に基づいた夜間の要請限度(70dB)を超過しています。幹線道路や抜け道にあたる地域では、道路交通が良好な生活環境を阻害する要因となっています。</p> <p>● 空き地や私有林等の荒廃は不法投棄を誘発したり、害虫を発生させるため、所有者は、定期的に除草や枝払いをしたり、フェンスを設置するなどして対策を行う必要があります。</p> <p>● し尿処理は、公共下水道の普及により処理量は減少傾向にありますが、今後もし尿の収集・運搬と処理施設の適正管理運営に努める必要があります。</p> <p>● 人と動物が共生できる地域社会を推進するため、平成22年6月「上尾市人と動物との調和のとれた共生に関する条例」が制定されました。今後も狂犬病予防などの動物感染症対策を施しながら、伝染病のまん延を防いでいく必要があります。</p> <p>● 従来からの典型7公害(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭)に関連する工場や事業所などについては「環境基本法」の制定や公害防止技術の向上及び環境管理の国際規格認証取得の動きにより改善されてきた一方で、未規制公害発生施設等による水質汚濁、悪臭、野焼き、生活騒音など多様な問題が発生しています。</p> <p>● 受動喫煙による健康被害の意識の高まりや、煙草の火による火傷や服の焼け焦げ、火災の誘発、吸殻のポイ捨てなどを防止するため、「上尾市路上喫煙の防止に関する条例」を平成23年3月から施行し、上尾駅及び北上尾駅の東・西口周辺を路上喫煙禁止区域として指定しました。今後も、この条例に基づき、直接・間接的な路上喫煙による被害を無くしていく必要があります。</p> <p>● 地上テレビ放送は、平成23年7月からアナログからデジタルに移行しましたが、残された受信障害世帯の解消が課題です。</p> <p>● 市内の空間放射線量は日常生活に支障のないレベルですが、今後も監視を続け、環境省・文科科学省・厚生労働省などの指針に基づき対応していきます。また、食品の放射性物質に対する市民の不安を解消するため、引き続き測定を行っていきます。</p> <p>● 建築物にアスベストが利用されているかどうかは、材料が分かりにくかったり、見えない場合があり、所有者がアスベストの存在を認識していない場合があります。そのため、特に危険性の高い吹付けアスベストが利用されている可能性のある建築物については、含有調査を行うよう所有者に周知していく必要があります。</p>
法制度の変更など	

※参考	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る 当初予算の事業費(千円)	252,752	222,793	223,590	226,901
この施策に係る 当初予算の人件費(千円)	83,589	91,550	80,226	97,859
合計(千円)	336,341	314,343	303,816	324,760

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
1	生活環境課 鴨川、芝川の環境基準値達成率 (保全関係)	環境基準値達成数÷ 採水回数×100 (単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	107%	測定結果は、ほとんどの項目で環境基準を達成している。基準超過した項目はわずかである。
				単位	%	81.2	88.8	82.8	72.0	89.3	87.5		
2	生活環境課 し尿汲取り世帯数	世帯数 (単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	110%	
				単位	世帯	747	694	645	548	505	472		
3	生活環境課 狂犬病予防注射接種率	接種率 (単年)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	101%	上尾市は県内でトップの接種率。
				単位	%	87.1	87.1	86.2	85.1	86.5	86.8		
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									

4. 今後の方針

<p>今後の取組の方向性</p>	<p>目標の達成状況</p>
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> 前期基本計画最終年のため記載はせず、別途、 後期基本計画に合わせた様式によって今後の方針を示すこととします。 </p>	<p>達成したもの</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">100%</p>
	<p>改善したもの</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">0%</p>
	<p>改善していないもの</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">0%</p>

※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.2	22	1.15	28	1.05	32

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

平成28年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●生活環境課・経営総務課・業務課・下水道施設課

施策番号(大-中-小)	221
まちづくりの基本方向(大項目)	未来につなぐ環境づくり
政策(中項目)	生活・雨水排水施設の整備と維持管理
施策(小項目)	生活排水
基本方針	生活排水の処理は、公共下水道による対応と、その全体計画区域外での浄化槽による対応を基本とし、公共下水道は事業計画を適宜見直しつつ、その整備拡大と接続による水洗化促進を図り、浄化槽はその適正管理を促進します。し尿の収集・運搬と処理施設の適正管理運営、合流式下水道の改善を含め、これら排水処理施設の適切な維持管理に努めます。

2. 施策の状況(平成28年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市経営の観点から、公共下水道と合併処理浄化槽の合理的な区域設定を検討し、県や関連市と調整を図ることが必要とされています。 ● 公共下水道全体計画区域以外は浄化槽区域となりますが、公共用水域の水質保全や快適な生活環境などの観点から、浄化槽の設置及び維持管理のあり方が課題となります。 ● 公共下水道供用開始区域においては、速やかに下水道を使用することにより、水洗化率の向上を図る必要があります。 ● 合流式下水道緊急改善計画(合流改善)に基づき、降雨時の河川への放流水の量及び汚濁負荷を下げるために、平成18年度よりこれまで対策を講じてきましたが、平成25年度の貯留管の設置により全ての工事が完了しました。 ● 災害などの非常時対策として、下水道施設の耐震化を図る必要があります。 ● 下水道施設の計画的な維持管理を進める必要があります。公共下水道区域以外の戸別浄化槽については適正な維持管理の仕組みを確立する必要があります。
法制度の変更など	

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	5,677,939	5,043,434	5,308,207	5,601,720
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	171,893	163,605	146,494	179,870
合計(千円)	5,849,832	5,207,039	5,454,701	5,781,590

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
★ 1 下水道施設課	公共下水道普及率	処理人口/市内人口(累計)	住基人口	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	100%	
				単位	%	75	76	77	78	79	80		
★ 2 下水道施設課	合流式下水道改善率	実施面積/計画面積(累計)	計画面積145.3ha	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	100%	H25年度の貯留管設置完了により100%となった。
				単位	%	3.0	3.0	3.0	100	100	100		
3 生活環境課	浄化槽設置数	設置数(累計)	-	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	95%	公共下水道整備を補完するため、当面維持を目標としている。※減る方が良い指標
				単位	基	23,525	23,522	22,362	21,267	21,783	21,020		
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									

4. 今後の方針

今後の取組の方向性	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>前期基本計画最終年のため記載はせず、別途、後期基本計画に合わせた様式によって今後の方針を示すこととします。</p> </div>	<p>目標の達成状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>達成したもの</td> <td style="text-align: center;">67%</td> </tr> <tr> <td>改善したもの</td> <td style="text-align: center;">33%</td> </tr> <tr> <td>改善していないもの</td> <td style="text-align: center;">0%</td> </tr> </table>	達成したもの	67%	改善したもの	33%	改善していないもの	0%
達成したもの	67%							
改善したもの	33%							
改善していないもの	0%							

※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.33	6	1.53	5	0.8	8

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。

平成28年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●道路課・河川課・下水道施設課

施策番号(大-中-小)	222
まちづくりの基本方向(大項目)	未来につながる環境づくり
政策(中項目)	生活・雨水排水施設の整備と維持管理
施策(小項目)	雨水排水
基本方針	総合治水基本計画を策定し、それに沿って、河川の整備や都市下水道・雨水管きよの整備、またそれら施設の適切な維持管理を進めます。同時に、雨水の流出抑制のための様々な方策などを通じ、市民・民間事業者とともに雨水排水を計画的に河川等へ流出させる環境を整えていきます。

2. 施策の状況(平成28年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 急激な宅地化などにより短時間に雨水が河川に流出し、洪水の原因になっています。河川と下水道が一体となって効率的に治水安全度の向上を図るため、体系化された「総合治水計画」を策定する必要があります。 ● 洪水ハザードマップは、平成21年度に全戸配布しています。内水ハザードマップは、平成25年度に作成し、公表しています。豪雨時の警戒区域を情報提供するなど、二次災害等の危険回避を図ります。 ● 治水機能の充実を図るとともに、親水性に配慮した河川整備を進める必要があります。 ● 雨水を確実に排水するために、河川整備をはじめ公共下水道雨水管及び都市下水道などの計画的な整備を進める必要があります。 ● 河川への雨水流出量を抑制するために、雨水の貯留施設、浸透施設の設置を進める必要があります。また、貯留された雨水の再利用を図るなど健全な水循環の構築を図る必要があります。 ● 河川、公共下水道雨水管、都市下水道などの計画的な維持管理を進める必要があります。
法制度の変更など	

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	194,367	175,648	297,218	292,177
この施策に係る当初予算の人員費(千円)	138,055	130,213	144,936	109,995
合計(千円)	332,422	305,861	442,154	402,172

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
1 ★ 河川課	雨水貯留タンク設置件数	補助件数(累計)	市内一戸建て(約5万戸)	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	45%	環境推進大会や消費生活展、広報あげお等で展示、PRしているが設置には若干のスペースを必要としており難しい場合もある。
				単位	件	25	47	72	97	132	152		
2 ★ 河川課	準用河川整備率	原市沼川、上尾中堀川、浅間川の整備率(累計)	総m数 3,242m	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	88%	H24～H27において浅間川下流さいたま市内において多量の廃棄物が確認され事業が一時停滞。H28事業再開予定。
				単位	%	71.0	72.2	73.5	73.5	73.5	73.5		
3 下水道施設課	公共下水道雨水管整備率	整備済面積/計画面積(累計)	計画面積 1,382.4ha → 1,484.1ha	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	91%	H24年度に計画区域を拡大したことにより、指標の分母が大きくなったため、H24実績及びH26見込値を下方修正しています。
				単位	%	75.5	76.3	72.4	72.5	73.2	73.5		
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位	m								
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									

4. 今後の方針

今後の取組の方向性	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>前期基本計画最終年のため記載はせず、別途、後期基本計画に合わせた様式によって今後の方針を示すこととします。</p> </div>	<p>目標の達成状況</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>達成したもの</td> <td style="text-align: center;">0%</td> </tr> <tr> <td>改善したもの</td> <td style="text-align: center;">67%</td> </tr> <tr> <td>改善していないもの</td> <td style="text-align: center;">33%</td> </tr> </table>	達成したもの	0%	改善したもの	67%	改善していないもの	33%
達成したもの	0%							
改善したもの	67%							
改善していないもの	33%							

※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.18	26	1.43	10	0.75	4

※かい離値は、期待度－満足度を表します。

平成28年度 第5次上尾市総合計画 施策マネジメントシート

1. 基本情報 ●経営総務課・業務課・水道施設課

施策番号(大-中-小)	231
まちづくりの基本方向(大項目)	未来につながる環境づくり
政策(中項目)	上水道の水質保全と安定供給
施策(小項目)	上水道
基本方針	将来にわたりいつでも安心して使える上水道としていくため、水道施設や設備の維持や耐震化も含めた更新・整備、自己水源の保全などに取り組んでいきます。長期的に安定した水道事業経営ができるよう、コスト削減等による収益性の向上とともに、計画的・効率的な事業運営に努めます。

2. 施策の状況(平成28年3月31日現在の状況を記入)

施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市の上水道は、昭和39年に給水を開始して以来、5回の拡張事業を重ねた結果、ほぼ全世帯に普及し、生命の維持に欠かすことのできない重要なライフラインの役割を担っています。 ● 給水開始当初に整備した水道施設は40年以上経過し、老朽化が問題になっています。災害などの非常時の被害を最小限に抑え、常に水道水が送れるよう施設の計画的な更新と維持管理を進める必要があります。 ● 安心・安全な水質を保つために、水道管内の状況確認や水質管理の徹底を図る必要があります。 ● 給水人口がほぼ横ばい状態の中で、利用者の節水意識の向上や節水型機器の普及などにより、水道の使用量は減少傾向にあります。収益を保つには有収率を高めるとともに、外部委託の内容や範囲の拡大を検討し、埼玉県や近隣事業者との連携を図りさらなる経費削減に努める必要があります。 ● 効率的な運営とともに、施設更新の財源確保と利用者への一層のサービス向上のため、近年の生活様式の変化に応じたより適正な水道料金を検討し、より健全な経営を目指します。
法制度の変更など	

※参考

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
この施策に係る当初予算の事業費(千円)	4,952,084	4,872,673	6,188,185	6,168,309
この施策に係る当初予算の人件費(千円)	503,916	510,327	469,184	359,693
合計(千円)	5,456,000	5,383,000	6,657,369	6,528,002

3. 目標指標の達成状況 ★冊子掲載指標

課名	指標名	指標の説明(計算式)	対象数	実績							目標値	達成率	主な取組内容やコメントなど
				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27			
★ 水道施設課	有収率(配水した水のうち、料金の対象となった水の割合)	有収率 水道料金の対象になった水量/浄水場から送り出した水量(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	96%	H23以降率が減少している原因に、東日本大震災の影響による漏水が疑われる。改善のため、漏水防止対策に取り組む。
				単位	%	93.3	91.5	91.4	90.3	89.7	90.9		
★ 水道施設課	水道管路耐震化率	耐震管延長/ 配水管総延長(累計)		年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27	94%	
				単位	%	19.0	21.0	22.0	23.0	24.5	25.4		
3				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
4				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
5				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
6				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
7				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
8				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
9				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									
10				年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27		
				単位									

4. 今後の方針

今後の取組の方向性	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>前期基本計画最終年のため記載はせず、別途、 後期基本計画に合わせた様式によって今後の方針を示すこととします。</p> </div>	<p>目標の達成状況</p> <p>達成したもの</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">0%</p> <p>改善したもの</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">50%</p> <p>改善していないもの</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">50%</p>
-----------	--	--

※端数処理の関係上、合計が100%にならない場合があります。

5. 市民満足度アンケート(平成25年度実施)

期待度		満足度		かい離値	
指数	順位	指数	順位	指数	順位
2.42	1	1.9	1	0.52	1

※かい離値は、期待度ー満足度を表します。